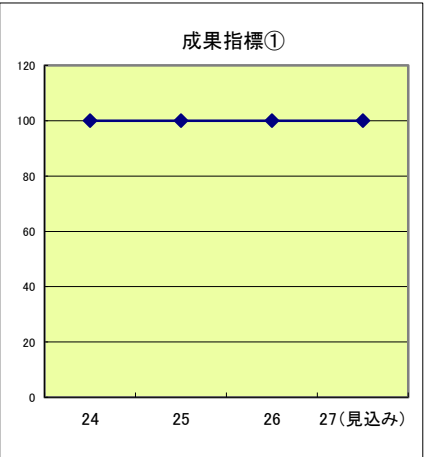
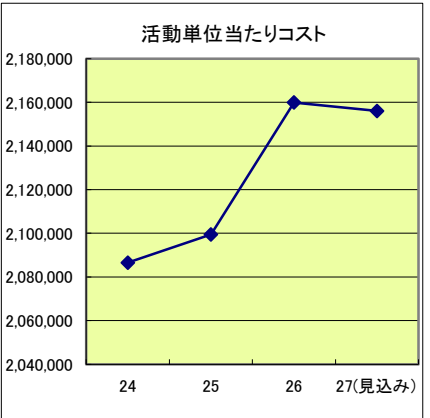


事務事業名			塵芥収集事業		予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち			款	4	衛生費		
	施策(節)	5	環境美化			項	2	清掃費		
	施策の方向					目	2	塵芥処理費		
						事業	1	塵芥処理		
関連する計画等					作成部署		生活環境部環境衛生課			
					(連絡先)		072 - 958 - 1111 内線 2843			
事業の概要(目的・内容)					家庭より排出される一般廃棄物を収集運搬する。					
根拠法令等					廃棄物の処理及び清掃に関する法律、羽曳野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・規則					
事業期間					☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）					
事業開始時から の状況変化					近年のごみ減量化・再資源化等の普及により、微量ながら減少している。					
実施手法					☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先					委託内容					
☐ 市外郭団体委託 名称()										
☒ 民間委託 ☐ その他										

区 分		24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)
事業費【1】		638,199	639,296	659,221	662,000
人件費【2】		10,713	11,541	10,358	10,673
職員数	正規職員	1.47 人	1.59 人	1.41 人	1.41 人
	再任用職員	人	人	人	人
	嘱託職員	人	人	人	人
	臨時職員・非常勤職員	0.30 人	0.30	0.30 人	0.30 人
超過勤務(参考)		時間	時間	時間	時間
総事業費(【1】+【2】)【A】		648,912	650,837	669,579	672,673
財源内訳	国庫支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他(使用料・手数料等)				
一般財源【B】		648,912	650,837	669,579	672,673
活動指標(事業の活動実績)【C】		24年度	25年度	26年度	27年度 (見込み)
① 収集日数		311	310	310	312
②					
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		2,086,534 円	2,099,474 円	2,159,932 円	2,156,004 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		2,086,534 円	2,099,474 円	2,159,932 円	2,156,004 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		5,544 円	5,586 円	5,798 円	5,868 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			0.3 %	2.9 %	0.5 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ✓)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減			
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
※該当項目すべてに✓		☐ 5. その他()			



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	① 適正処理率	(式又は説明)	目標	100	100	100	達成率(%)
			実績	100	100	100	100.0%
	②	(式又は説明)	目標				達成率(%)
			実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
○										

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	引き続き、収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・処理に努める。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	